

シーズ技術名
有機性廃棄物の地域内循環による食料の安定供給と環境保全構築
有機廃棄物から堆肥を生成する技術

技術分野分類 7702：環境農学

技術キーワード J：生物環境

産業分類 A-01：農業

内 容	概要	地域内の有機性廃棄物を堆肥に加工することで、地球温暖化の原因物質です。環境調和型農業・環境保全型農業の基礎技術の開発、農業のWin-Winビジネスモデルの開発と実践です。地域内の有機性廃棄物を堆肥に加工することで、地球温暖化抑制と農業利用可能にします。有機性廃棄物を利用した堆肥製造、作物栽培のWin-Winビジネスモデルの構築です。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	農業は太陽エネルギーを固定し、食料とエネルギーを生産する唯一の産業です。この農業の能力を適正に発現させることができ、地球環境の維持・保全に繋がります。そこで、環境教育や農業教育を基盤とした適正技術を誘導し、企業の環境保全行動を促します。
	本技術の有用性	農業以外から発生する有機性廃棄物を利用して、堆肥の良質な低コスト・効率的製造方法を研究しています（農業が必要とする堆肥の品質を保ちながら、地域内の有用な有機性廃棄物を利用する方法です）。いずれの業者・業界も共に「利益」があり、地域が活性化する方法を研究しています。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>農作物のブランド化</p> <p>廃棄物の適正処理</p> <p>Win-Winな関係</p> <p>作物生産</p> <p>良質堆肥の製造</p> <p>http://www.bio.mie-u.ac.jp/seimei/rikuken/lab2/</p>
適用可能製品		農業分野、産業廃棄物処理業分野、環境教育分野、環境政策立案分野など、地域に研究成果を生かします。
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	長屋 祐一 三重大学 生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 資源作物学研究室 准教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	三重大学 社会連携研究センター 059-231-5364/059-231-9743 liaison@crc.mie-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2014年2月18日